

山行報告書

日時	2015年 5月31日(日)		天候	小雨→曇
山名	くじゅう(大船山・平治岳)～ミヤマキリシマ鑑賞～			
CL	諫山	参加者	秋山、諫山(CL)、辻本(SL) 総勢3名	
(コース)	男池 6:25 → ソババツケ 7:10 → 黒岳・男池・今泉分岐 8:12 → 大船山頂上 10:10 →うとん越し 11:45 平治岳 12:30 → ソババツケ 14:10 → 男池14:50			
(コメント)	<p>5月31日(日)、総勢3人で虫害の心配されるミヤマキリシマをみにくじゅうへ行ってきました。</p> <p>前日夜に小国風の里入り。主の林さんと、そしてビックリゲストの藤原さんが温かい笑顔で出迎えてくださり、先の四王寺山清掃登山のビデオを肴に、おつまみやらお汁粉、そしてなんと林さんの奥様手作りの甘夏の皮の砂糖漬け(と一つも綺麗で美味しかったです。有難うございました!)などを有難く頂きました。翌朝4時から、林さんと藤原さんにご準備頂いた朝ごはんをまたもや有難くお腹に納め、予定どおり5時ジャストに風の里を後にしました。</p> <p>天気予報に反して男池に着いてもまだ雨が上がりず、少し様子を見ながら6時25分にカッパの上だけを遠山の金さん羽織(写真左。これは涼しい。秋山さんより伝授。)で出発。途中、道迷いになられそうだった若者お二人連れと一緒に歩いたりしながら、予定通り大船から北大船を経て平治岳に歩を進めました。北大船から大船山にかけては、蕾の付きが悪い株も多く見られながらも、それなりに素晴らしい景色に出会うことができました。例年よりも人も少ないようで、周りの皆さんもガスの晴れ間を狙っては、思い思いにシャッターを切っていました。そして残念だった、というよりも、目を疑う景色だったのが、うとん越しから見た平治岳(真ん中の写真上段)。メンバーのうち二人は初めてのくじゅうのミヤマキリシマでしたが、そんな素人目にも明らかに異常事態だと感じる、茶色い株に埋め尽くされた山肌に息を飲みました。</p> <p>それでも、わずかな期待を胸に登っていくと、本峰南面(真ん中の写真下段)は平年ほどでないとのことでしたが、そこそこの花が咲いていてくれてホッとしたのでした。</p> <p>虫害の他、今年は「裏年」だとのことで、例年のくじゅうの素晴らしいミヤマキリシマを見慣れた方にはイマイチの年だったかもしれませんが、初くじゅうミヤマキリシマだった私の脳裏には色鮮やかで華やかなピンクの絨毯のような景色が心に刻み込まれました。</p> <p style="text-align: right;">(辻本 記)</p>			
	  			
	<p>☞ 暑い季節の小雨程度なら、ザックの上にレインジャケットを引っかけるように着ると涼しいと秋山さんより</p> <p>☞ 上段:うとん越しから見上げた平治岳 下段:平治岳本峰南面</p> <p>☞ 途中でしばくご一緒させて頂いたお二人と</p>			
(費用)	約¥4,500(車両提供者以外)			